

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別						現状（病床機能）①					指定・届出等					2025年（病床機能）② ※下段は現状との差（②-①）						機能変更あり（時期）	過剰な病床機能への転換	増床希望あり	2025年に向けた方針（抜粋）					
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟（病棟）	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期	回復期	慢性期				休棟	介護	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定（増床・減床を含む）	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定
鈴木病院	許可病床	54	71			125		54	71		125	○					○			54	71			125				在宅医療	なし	なし	
医療法人社団南浜会	稼働病床	54	71			125		54	71		125	告示・輪番								-	-	-	-	-	-						
鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院	許可病床		128			128			128		128					○								128				急性期と生活期を繋ぐ医療として回復期医療があり、この回復期を担う当院が地域包括ケアシステムの中心的な役割を果たしていかなければならないと考えている。その実践にあたっては急性期病院との連携や在宅復帰後のリハビリテーションケアの継続に向けて在宅を担う医療・介護サービス機関との連携など復帰後のフォローアップに対してのサポートも必要と考える。また、当院内においても通所リハ、訪問リハを始め在宅の拠点を設け訪問看護・介護、デイサービス、ショートステイを兼ねた施設運営を実施しており、地域に開かれた病院として今後も地域医療に貢献していきたいと考えている。	予定なし	予定なし	
社会福祉法人聖テレジア会	稼働病床		128			128			128		128				(128床)					-	-	-	-	-	-						
小さき花の園	許可病床	72				72			72		72												72		72			・利用者の医療の高度化が進んでおり、ご家族の負担軽減のため通所事業や短期入所受け入れ、ニーズに応えられる診療機能体制。 ・児童相談所等と連携し、一人でも多くの医療・療養を必要とする長期入所希望者を受け入れ、人が人らしく生活できるよう援助していく。	特になし	特になし	
社会福祉法人聖テレジア会	稼働病床	72				72			72		72									-	-	-	-	-	-						
医療法人養生院 清川病院	許可病床	89	109			198		89	109		198	○								89	109			198			紹介、被紹介共に他病院との連携を強化していく。近隣のクリニック、在宅医療施設との連携を図り、スムーズな入院、退院を図る。三次救急病院から処置が終わっても直ぐに自宅に退院できない患者を積極的に受け入れ、地域の中心病院として活動していく。	予定なし。	予定なし。		
医療法人養生院	稼働病床	89	109			198		89	109		198	告示・輪番								-	-	-	-	-	-						
鎌倉ヒロ病院	許可病床	49	30			79		49	30		79	○		○		○				49	30			79			今後当院は「地域に密着した急性期・慢性期病院」として、高度急性期病院では受け入れ困難な高齢者救急を含めた救急要請に対し、基本的に応需していかなければならない立場の病院であると考えている。また近隣急性期病院のバックアップの役割も担っていかねばならないと考えている。				
医療法人光陽会	稼働病床	49	30			79		49	30		79			(33床)						-	-	-	-	-	-						
一般財団法人 鎌倉病院	許可病床	67	18			85		34	33		85	○		○		○				48	59			107		●	●	●	整形外科を中心とした一般急性期と、地域包括ケア病棟を中心とした地域医療需要に合わせてケアミックス病院として機能を維持、更に強化することを目指す。在宅医療、介護事業所との連携、いずれは自院での展開を計画しており、地域におけるかかりつけ医療機関の役割を継続して行く。	3年後を目標に、現在地での病院建て替え計画をしている。建て替え後は、現在の許可病床85床から107床へ、一般病棟12床、地域包括28床増床し、手術室も現状1室の機能を維持、更に強化することを目指す。在宅医療、介護事業所との連携、いずれは自院での展開を計画しており、地域におけるかかりつけ医療機関の役割を継続して行く。	現状の、整形外科、内科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科の機能を維持更に強化して行く。
一般財団法人 鎌倉病院	稼働病床	67	18			85		34	33		67	告示・輪番		(33床)						-	+14	+26	-	△18	-	+22	急性期(+14)	H28配分済 H29許可済			
医療法人湘和会 湘南記念病院	許可病床	100	61			161		50	74	37	161	○		○	○	○				50	68	37		155			今後も継続して地域の求める回復期病床機能の拡充に努める。また、緩和ケア病床機能について取り組んでいる機関がないことから、検討のひもとく挙げていく。救急体制について、3次救急医療およびそれと同等の医療を提供する機関の対応患者の多くが軽傷である現状を踏まえ、当院の2次救急医療の充実を図る。また、在宅医療の拡充に努める。		特になし		
医療法人湘和会	稼働病床	100	61			161		50	74	37	161	告示・輪番		(60床)						-	-	△6	-	-	△6						
医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院	許可病床	619				619	619				619	○								648				648		●	●	二次医療圏が縦に長く分断されているイメージがあるため、患者の流動を考慮し、ポストアキュートやサブアキュート等へのスムーズな連携を他院と図り、地域で完結するように努める。また、外傷センター、先端医療（先進医療）センター、包括的がんセンターを設立し、広域急性期病院を目指す。	当院は現在、ICUからの転棟先が一般病床とになっていることから、患者の安全性の向上と密度の高い医療の提供を目的に、2018年度中に特定入院病床であるHCU（16床）の整備を行う計画である。そして、占床率が90%近くとなっているICUにおいても、手術後の患者安全をさらに高めるため、2019年度に現状の8床から12床（4床増）に拡張する計画である。また、身体的疾患を伴う精神疾患（認知症を含む）患者が近年急増しており、これに対しては、手術室を3室から5室に増設し、病床も56床から15床増床し再編成をする。併せて、ICU10床を増設する計画である。（HCU病床：16床 精神科病床：10床 ICU病床：8床⇒12床 救命救急病床：20床 NICU病床：6床）	2020年度に、陽子線治療器、ドモセラビー（追加設置）、PET-CT、PET-MRIなどの検査機器を完備するがん疾患の放射線治療に特化した施設を増築し、包括的がん治療センターの設立を計画している。2021年度には、救命センター・外傷センターの機能を拡充する計画である。救命エリアは面積を拡張し高度治療を可能とする環境整備を行う。外傷エリアについては、手術室を3室から5室に増設し、病床も56床から15床増床し再編成をする。併せて、ICU10床を増設する計画である。（HCU病床：16床 精神科病床：10床 ICU病床：8床⇒12床 救命救急病床：20床 NICU病床：6床）	
医療法人沖繩徳洲会	稼働病床	619				619	619				619								+29	-	-	-	-	+29		高度急性期(+29)	H27配分済				
医療法人社団則天会 逗子病院	許可病床	36				36			36		36					○				40				40		●	●	●	地域医療は医療にとどまらず、生活環境の福利を増進する役割を担っていると感じている。	2022年頃に40床程度の介護医療院を新設する計画と既存の病院(36床)も建て替える計画がある。	特に予定なし
医療法人社団則天会	稼働病床	36				36			36		36									-	+40	-	△36	-	+4	2022年頃	急性期(+40)	2022年頃			
医療法人社団柏信会 青木病院	許可病床	97				97			97		97					○						23	74		97	●		慢性期における長期療養に強みのある病院。今後は、訪問看護をはじめとする医療専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・薬剤師）等の連携により地域医療を充実させ、在宅医療にシームレスに対応できるような機能をもち、地域の方々の健康な生活を支えていく。	病床数(97床)の変更はなし。 ・一部を「障害者病床」の機能に変更する。 ・医療依存度の上昇(医療区分2・3の増加)に伴い、神経障害等を中心として「障害者病床」へ機能を分化する。 ・1～2年後くらいから、段階的に、病棟内整備及び機能変更を計画している。	・当院は、認知症対応力向上研修の修了看護師が多数在籍している。原疾患に加えて認知症で苦慮されているご家族の負担を軽減するため、積極的にご家族との連携を深め、知識・方法などを共有する。 ・「リエゾン外来」を検討している。 ・整形外科領域と神経内科領域のリエゾンにより多角的な機能回復に取り組みたい。 ・いずれも平成31年度以降の計画として検討している。	
医療法人社団柏信会	稼働病床	97				97			97		97									-	-	+23	△23	-	-	2019以降					

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別					現状（病床機能）①					指定・届出等					2025年（病床機能）② ※下段は現状との差（②-①）					機能変更あり（時期）	過剰な病床機能への転換	増床希望あり	2025年に向けた方針（抜粋）										
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟（病棟）	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期				回復期	慢性期	休棟	介護	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定（増床・減床を含む）	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定			
医療法人沖縄徳洲会葉山ハートセンター	許可病床	89				89	83			6	89	○								89					89	●	●	●	逗葉地区の急性期病院として、内科系入院の受け入れ、救急患者の受け入れを更に強化していく。	今後はスタッフの確保に努めて2025年までには休棟中の6床を開棟する予定。	診療科については、医師採用次第では診療科の追加等を考えていますが予定時期などは未定。			
医療法人沖縄徳洲会	稼働病床	83				83	83				83	告示								-	+6	-	-	△6	-	-	●	●	●					
横須賀市立うわまち病院	許可病床	367	50			417	127	190	50	50	417	○				○				142	199	109			450	●	●	●	うわまち病院は、高度急性期から回復期までを担っており、小児救急を含む救急医療、周産期医療のほか、在宅療養後方支援病院として在宅患者の受け入れにも対応している。また、回復期リハビリテーション病棟を有し、地域包括ケアシステムの一翼を担っている。新病院においても引き続きこれらの機能を担い、小児医療については、現状市民病院からうわまち病院に機能集約しているメリットを生かし、新生児期以降の小児重症患者へのより充実した対応を図る。	うわまち病院の現在の病床数と2025年（新病院）の予定病床数 高度急性期 127床→142床（+15床） 急性期 190床→199床（+9床） 回復期 50床→109床（+59床） 慢性期 50床→0床（△50床） 合計 417床→450床 市立2病院を一体として考え、市立2病院合計の高度急性期、急性期病床数は、2025年以降も現在の病床数と同じとする。回復期、慢性期病床は、地域の医療提供体制や医療需要を鑑み、市立2病院合計で減とする。 予定時期は新病院開院予定の2025年度（平成37年度）とする。				
横須賀市	稼働病床	337	50			387	127	160	50	50	387			(100床)						+15	+9	+59	△50	-	-	+33	●	●	●					
横須賀市立市民病院	許可病床	476			6	482	84	256	95	41	476	○			○					69	247	68			384	●	●	●	市民病院は、高度急性期から回復期までを担っており、在宅療養後方支援病院として在宅患者の受け入れにも対応している。また、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟を有し、地域包括ケアシステムの一翼を担っている。今後も引き続きこれらの機能を担う。また、三浦半島西側で、くも膜下出血の搬送時間が他の地域よりも時間を要する60分圏内エリアとなっていることから、医師の確保等により脳卒中患者の受け入れ体制拡充を図る。	市民病院の現在の病床数と2025年の予定病床数 高度急性期 84床→69床（△15床） 急性期 256床→247床（△9床） 回復期 95床→68床（△27床） 慢性期 0床→0床 休棟 41床→0床（△41床） 合計 476床→384床（△92床） （他に感染症病床6床あり） 市立2病院を一体として考え、市立2病院合計の高度急性期、急性期病床数は、2025年以降も現在の病床数と同じとする。回復期、慢性期病床は、地域の医療提供体制や医療需要を鑑み、市立2病院合計で減とする。 予定時期は新病院開院予定の2025年度（平成37年度）とする。				
横須賀市	稼働病床	356			6	362	66	222	68		356			(34床)	(34床)					△15	△9	△27	-	△41	-	△92	●	●	●					
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター	許可病床	86		246		332		45		41	86											45		41	86									
独立行政法人国立病院機構	稼働病床	45		246		291		45			45									-	-	-	-	-	-	-								
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	許可病床	730		10		740	634	96			730	○								634	96				730									
国家公務員共済組合連合会	稼働病床	689		10		699	609	80			689									-	-	-	-	-	-	-								
三浦市立病院	許可病床	136				136	96	40			136	○																						
三浦市	稼働病床	136				136	96	40			136	告示・輪番			(40床)																			
横須賀・三浦計	許可病床	####	####	376	0	6####	1,464	####	693	1,046	300	####	18	1	8	7	7	3	####	####	915	971	41	0	5,069									
	稼働病床	####	####	376	0	6####	1,421	####	646	981	0	####			(20床)	(376床)	(354床)			+29	+79	+262	△75	△259	-	+36								